

---

# 東方神轟記 ~ The Sun also Rises

The Fool

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方神轟記 ~ The Sun also Rises

### 【Nコード】

N1290BA

### 【作者名】

The Fool

### 【あらすじ】

陽は昇る何度でも 陽が昇らなくなった時 それは諦めてしまった時だ 何度膝をつこうが立ち上がってきた それは目の前にいつも陽が昇っていたから その陽を追いかけてここまで登ってきたなら諦めないでほしい 苦しくても辛くても歯を食いしばって空を見上げれば いつだって誰の上になんてそこには等しく太陽があるのだから

## 序ノ幕 物語のはじまり（前書き）

本文は、『上海アリス幻樂團』様による弾幕STG『東方Project』シリーズの二次創作・幻想入り物に御座います。

拙い文ではありますが、是非お読み頂ければ、そして少しでも楽しんで頂ければ幸いです。

## 序ノ幕 物語のはじまり

これは遠い遠い昔の物語。

### 天地開闢

天地開闢において神世七代の最後に。

『伊耶那岐命』と共に生まれた『伊耶那美命』

そこで『別天津神』は大地を完成させるよう、伊耶那岐命と伊耶那美命に命じ。

別天津神は【天沼矛】を伊耶那岐命と伊耶那美命に渡します。

二神はその天沼矛を使い、混沌とした大地をかき混ぜました。

この時、矛から何故か塩が滴り落ちたそうです。

伊耶那岐命と伊耶那美命の汗の結晶かなんかだったのでしょうか。

それが大地に降り積もり、島が出来ました。

その島を『淤能碁呂島』と言う。

伊耶那岐命と伊耶那美命はこの淤能碁呂島に降り立ち、暮らすようになった。

## 二神の国産み

よって産まれたのが、順に。

「佐渡島」

「対馬」

「壹岐島」

「九州」

「隱岐島」

「四国」

「淡路島」

「本州」

この八つの島を総称して

『大八洲国』

大八洲国およびその他の小さな島々。国産み終えたあと、海川、山を産み、伊耶那岐命と伊耶那美命は神々を産んだ。

二神の神生み

そうして最初に産まれた子供は

『蛭子』

しかし蛭子は不具の子であつたため二神はこの子を葦舟に乗せて淤能碁呂島から流してしまいました。

そして次に産まれたのは

『淡島』

しかしこの子も蛭子と同様、不具の子であつた為、葦舟に乗せて淤能碁呂島から流されてしまいました。

流された蛭子と淡島の行方を知るものは誰もいない。

その後も伊耶那岐命と伊耶那美命は様々な神々を産み出してしましたが、

『火之迦具土神』

この神を出産した際に伊耶那美命は火之迦具土神の炎にその身を焼かれ死んでしまい。

愛する妻を失った伊耶那岐命はその怒りから火之迦具土神を【十拳剣】で首を刎ねてしまう。

十拳剣に迦具土の血が付着し、先端から滴り落ちた血が岩石に落ちてその血からまた神々が生まれました。

火神被殺

伊耶那岐命は伊耶那美命の死に涕泣した。この涙からも神がまた生

まれました。

火之迦具土神の亡骸を出雲と伯耆の国境の比婆山に埋葬した後も火之迦具土神の亡骸からも神々が生まれました。

伊耶那岐命は亡くなった伊耶那美命に逢いたい気持ちを捨てきれず伊耶那岐命は伊耶那美命を捜しに黄泉の国へと赴きます。

## 黄泉の国

黄泉に着いた伊耶那岐命は、戸越しに伊耶那美命に

あなたと一緒に創った国土はまだ完成していません。帰りましょ  
う

と言いました、しかし伊耶那美命は。

黄泉の国の食べ物食べてしまったので、生き返ることはできません

と答えさらに、伊耶那美命は。

黄泉神と相談しましょう。お願いですから、私の姿は見ないで下さいね

と言い残して、家の奥に入っていきました。

伊耶那岐命は、中々戻ってこない伊耶那美命に痺れを切らし、約束を破って自分の左の角髪につけていた湯津津間櫛の端の齒を折って、火を灯して中を覗き込んでしまう。

そこには居た伊耶那美命は、既に美しき伊耶那美命ではなく

体は腐り蛆がたかり、

声はむせびふさがっており、

体には蛇の姿をした八柱の雷神が纏わり憑いていました。

黄泉の国の伊耶那美命の変わり果てた姿におののいた伊邪那岐命は逃げてしまいます。

伊耶那美命は自分の醜い姿を見られ恥をかかされたと大いに怒り、黄泉醜女に恐怖で逃げる伊邪那岐命を追うように命じて伊邪那岐命を追わせました。

追いかけてくる伊耶那美命、八柱の雷神、黄泉醜女らに、伊邪那岐命は蔓草を輪にして頭の上に載せていたものを投げ捨てました。

すると葡萄の実がなり、黄泉醜女がそれを食べている間、逃げ。

しかしまだ黄泉醜女が追いかけてくるので、右の角髪につけていた湯津津間櫛を投げた。するとたちまち筍が生え、黄泉醜女がそれを食べている間、逃げ。

そして最後に黄泉の坂本に生えていた桃の実、意富加牟豆美命を投げて黄泉醜女を振り切ります。

だが、まだ伊耶那美命、八柱の雷神と黄泉軍が追ってくる。伊耶那岐命は十拳剣で振り払いながら逃げたがそれでも執拗に追ってきた。

ようやく黄泉の国と地上の境である黄泉比良坂の坂本に着いた時、意富加牟豆美命坂本を三つ投げたところ、追ってきた黄泉軍たちは逃げ帰っていく。

最後に伊耶那美命本人が追いかけてきたので、黄泉国と地上との境である黄泉比良坂の地上側出口を伊耶那岐命は大岩で黄泉比良坂を塞ぎ、悪霊が出ないようにしました。

その大岩を挟んで対面してこの妻である伊耶那美命と完全に離縁することになりました。

その時に岩を挟んで二神が会話しました。

この時、伊耶那美命は

私はこれから毎日、一日に千人ずつ殺そう

と呪言を残します。

これに対し伊耶那岐命は

それなら私は人間が決して滅びないように、一日に千五百人生ませよう

と言い返し真言する。

そうして伊耶那岐命は黄泉の穢れを清めるため筑紫の日向の小戸の橋の檍原に赴き楔ぎを行いました。

身に着けていた物を脱ぐことによって十二神が生まれ。

上流は流れが速い。下流は流れが弱い

とあって、最初に中流に潜って身を清めたとき、二神が生まれ。

次に、その禍を直そうとすると三神が生まれ

水の底で身を清めると二神が生まれ

水の中程で身を清めると二神が生まれ

水の表面で身を清めると二神が生まれ

そして伊耶那岐命が最後に生みだした神々。

太陽神 『天照大神』

夜を統べる月神 『月夜見尊』

海原の神 『素戔嗚尊』

三貴神と呼ばれ、伊邪那岐命によって世界の統治を命じられるのである。

こうして物語はここで始まる。一匹の白狼によって。

「……本当、これからどうしようか」

悠久と美しく広がる太古の照葉樹林の森の中。

石の上に佇む白狼。太陽神『天照大神』はボソリと独り言を言うのであった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1290ba/>

---

東方神轟記 ~ The Sun also Rises

2012年1月3日03時49分発行